

酵母菌 *Candida albicans*

第AK22-22-0028-1号

2022年6月21日

報 告 書

アキロン株式会社 様



厚生労働大臣登録検査機関
神戸市東灘区御影塚町1丁目2番15号
一般社団法人 日本油料検定協会
総合分析センター
電話078-841-4931代表

①

貴依頼による検査結果を下記のとおり報告します。

試料名 : アキロンMIOX(マイオックス)BM液
試験項目 : 殺菌力試験
受付年月日 : 2022年4月28日 (提示見本)

記

1. 試料 : アキロンMIOX(マイオックス)BM液
2. 試験目的 : 試料の微生物に対する殺菌効果を確認する。
3. 試験概略

試料に菌液を接種後 (以下「試験液」とする。)、室温で保存し、30秒後の生菌数を測定した。

なお、あらかじめ不活性化の確認試験を行い、生菌数の測定方法について検討を行った。

4. 試験方法

1) 試験菌株

Candida albicans (NBRC 1594)

酵母菌
Candida albicans

2) 菌数測定用培地

GPLP 寒天培地「日本製薬株式会社」、混釈平板培養法、25±1℃、3~5日間。

3) 試験菌液の調製

ポテトデキストロース寒天平板培地に試験菌株を接種し、25℃で、5~7日間培養する。培養後の平板培地より菌体を掻き取り、0.1%トリプトン 0.85%NaCl 溶液中でガラスビーズと共にパイオシユーカーを用いて、10分間攪拌し懸濁させ、滅菌したガラスウールでろ過し、試験菌液とした。

4) 試験操作

試料 9mL に試験菌液を 1mL 接種し、試験液を調製する。試験液を室温で保存し、保存 30 秒後に試験液を直ちに SCDLP 液体培地「日本製薬株式会社」で 10 倍希釈し、試験液中の生菌数を菌数測定用培地を用いて測定した。

また、対照として、滅菌生理食塩水を用いて同様に試験し、生菌数を測定した。

5) 試料の不活性化の確認

SCDLP 液体培地 (不活性化剤) 9mL に試料 1mL を加え、振とう攪拌させたものに試験菌液を 1mL 加え、30 秒間室温で保存し、保存後、生菌数の測定を行い、生菌数に差がないことを確認した。

酵母菌Candida albicans

第AK22-22-0028-1号 (2)

表-1 試験液の生菌数測定結果

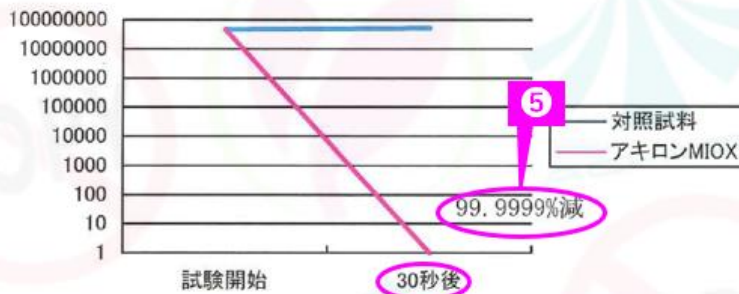
試験菌株： 酵母 (Candida albicans) 添加菌数： $7.4 \times 10^8 / \text{mL}$

対象	生菌数 (/ mL)			平均 (3 回試行)
	開始時	30 秒後	減少率	
試料 アキロン MIOX (マイオックス)	4.8×10^7 ※	0×10^1	99.9999%	0×10^1
		0×10^1	99.9999%	
		0×10^1	99.9999%	
対照 滅菌生理 食塩水	5.9×10^7	4.7×10^7		5.2×10^7
	4.2×10^7	3.7×10^7		
	4.3×10^7	7.3×10^7		

保存温度：室温

※試料の開始時は対照試験よりの推定値

グラフ-1 試験液の生菌数の変化



酵母菌
Candida albicans
30秒で
99.9999%
除菌

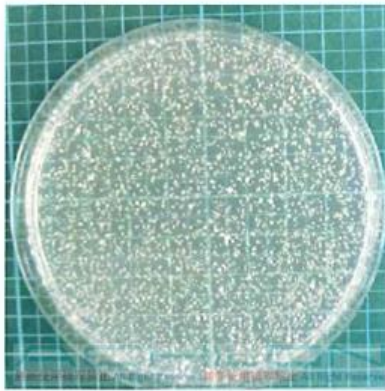


写真-1
試験開始

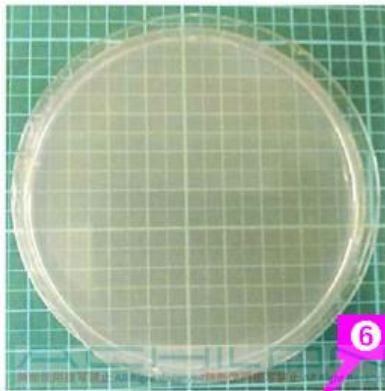


写真-2
30秒後のアキロンMIOX試料

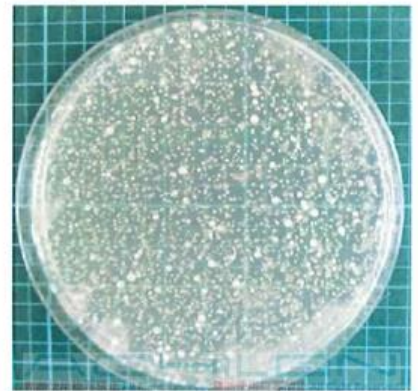


写真-3
30秒後の滅菌生理食塩水対照試料

5. 試験結果

結果を表-1、グラフ-1、写真-1.2.3に示した。

試験結果より、アキロン MIOX(マイオックス)BM 液により、99.9999%の酵母 (Candida albicans) の減少を確認した。

第三者公的機関の殺菌試験結果によりアキロンマイオックスBM液を使い酵母菌を30秒で99.99%除菌がされることが確認されました。

以下余白